

花はす公園

福井県南越前町



レ・シ・ピ

世界中から集めたバス1
27種を育てている福井県

約33000平方㍍の敷地に鑑賞池（園）が10カ所ある。今、咲いているのはピンクのローズフレナや白いベトナムバスなど。園内にはアジサイもある。「ハスの花って大きくて見えたね」と夫婦連れ。

「象鼻杯」も楽しめる

南越前町の「花はす公園」。花の季節に入り、3日から8月8日まで「はすまつり」が開かれている。

三脚を担いだアマカメラマレンズを向けている人がいた。「のぞいて」と言うのを見ると、つぼみにイトトンボが止まっている。ハスの茎の

根元に産み付けたモリアオガエルの泡のような卵も教えてくれた。

ハスの花は夜明けごろに開花を始め、午前中に閉じる。それを2日繰り返し、3日目は閉じなくなつて4日目の午後に散るという。

すぐ横には「花はす温泉スの関係資料や写真を展示中だ。
・そまやま」。アルカリ性単純泉。ハス風呂のほか寝湯、庭園風露天風呂も。玄関横には無料のバスエキス入り足湯もある。

花を見るのなり午前中に来園したい。公園内には「花はす茶屋」が設置され、おろしそば（500円）、ハスソフトクリームなどを販売するほか、休憩所では祭り期間中の土日祝日（午前10時～午後1時）だけハスの葉にジュースを注ぎ、茎を通して飲む「象鼻杯」が無料で楽しめる。総ひのき造りの「瓜生の館」ではハスの関係資料や写真を展示中だ。
花見のなり午前中に来園したい。公園内には「花はす茶屋」が設置され、おろしそば（500円）、ハスソフトクリームなどを販売するほか、休憩所では祭り期間中の土日祝日（午前10時～午後1時）だけハスの葉にジュースを注ぎ、茎を通して飲む「象鼻杯」が無料で楽しめる。総ひのき造りの「瓜生の館」ではハスの関係資料や写真を展示中だ。
花見のなり午前中に来園したい。公園内には「花はす茶屋」が設置され、おろしそば（500円）、ハスソフトクリームなどを販売するほか、休憩所では祭り期間中の土日祝日（午前10時～午後1時）だけハスの葉にジュースを注ぎ、茎を通して飲む「象鼻杯」が無料で楽しめる。総ひのき造りの「瓜生の館」ではハスの関係資料や写真を展示中だ。
花見のなり午前中に来園したい。公園内には「花はす茶屋」が設置され、おろしそば（500円）、ハスソフトクリームなどを販売するほか、休憩所では祭り期間中の土日祝日（午前10時～午後1時）だけハスの葉にジュースを注ぎ、茎を通して飲む「象鼻杯」が無料で楽しめる。総ひのき造りの「瓜生の館」ではハスの関係資料や写真を展示中だ。



ハスが咲き始めた「花はす公園」



ハスの葉と茎を通してジ
ュースを飲む「象鼻杯」

▼メモ 花はす公園はJR北陸線南条駅下車、タクシー。土日は1日2便の無料バスあり。マイカーは北陸道・今庄ICから約7分。ETC搭載車は南条SAのスマートIC（前6～後10）から出られる。公園に無料駐車場あり。入園料は清掃協力金として200円。17～19日午後7～9時は「はす灯籠（とうろう）」設置。問い合わせは町産業振興課☎0778(47)8002 そまやまの入泉料大人550円、3歳～小学生250円。午前8時～午後10時、奇数週の火曜休み。7月は無休。☎0778(47)3368

